

アレルギー専門の当院での花粉症診療のご案内



2026年1月初旬ごろから、目のかゆみ、鼻水、くしゃみなど花粉の症状が既にでている方がいらっしゃいます。2026年1月15日の日本気象協会の花粉飛散予測(第3報)では、スギ花粉が**本格的に飛散開始する時期**は、関東・関西では**2月中旬に飛散が始まり**、スギのピークは2月下旬から3月下旬、ヒノキは3月中旬から4月上旬の予定です。また、スギ・ヒノキ花粉の飛散量は過去10年間・前年に比べると、関東では**多く、非常に多い所もある見込みです**。関西(大阪)も**例年通り飛散量**が予想されますので注意が必要です。

最近では、**2~3歳の子ども**でも、眼のかゆみなど花粉症状がでる事があります。症状が悪化する前に、花粉対策をするようにお勧めします。花粉の症状に心当たりある方など、**アレルギー専門の当院**にて、**内服、点眼・点鼻、ソレア注射薬などの花粉症の専門診療**※を行っておりますので、ご利用くださいませ。

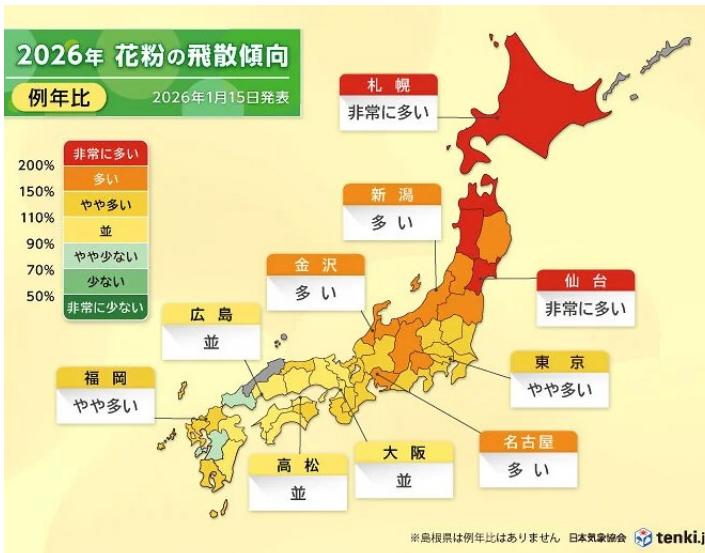
※アレルギー分野では新しい治療薬により、花粉症の症状やQOL(生活の質)の改善が期待できます。

詳しくはHPをご参照くださいませ。

- ◇ オンライン診療も行っております。詳細はホームページのオンライン診療のご案内をご参考下さいませ。
- ◇ より専門的な内容や診療に関しては、アレルギー専門の医師の外来(専門外来)をご利用くださいませ。



< 吹田院のご予約は[こちら](#) >



<日本気象協会HPは[こちら](#)>

【花粉症のQ&A】



Q: 花粉症の薬は、いつ頃から使用開始したらよいでしょうか?

A: 遅くとも、**症状が悪化する前から開始**しましょう

症状がひどくなつてからの内服でも、ある程度の効果はありますが、鼻水やくしゃみ、鼻づまり、目のかゆみがひどくなる前に、**早めに、我慢せずに、花粉症薬**を使用しましょう。個人差もありますが、本格的な飛散の開始日の数日前からの内服開始が推奨されております。

Q: 花粉症は、何科を受診するのがよいでしょうか?

A: 最も効率がよいのは、**アレルギー科**です

花粉症は、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状がでます。症状によって、耳鼻科に行き、眼科に行き、皮膚科に行く方もいらっしゃいますが、当院は、**アレルギー専門の医師**が、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状など花粉症のほぼ全ての症状に対応し、適切な内服薬、点眼薬、点鼻薬、外用剤などを処方しますので、複数の医院を受診する手間とコストが省けます。当院では、市販薬と同等の薬や市販されていない薬を含め、**あらゆる花粉症の治療薬を処方**できます。

※当院は日本アレルギー学会に沿った診療が主です。民間療法などは行っておりません。

Q：妊婦ですが、安全性が高い内服薬はありますか？

A：はい、あります

海外の治験などで実証されているデータがございます。

妊娠中や授乳中でも比較的安全に使用できる薬もありますので診療時にご相談ください。



Q：花粉症の漢方薬はありますか？

A：はい、あります

花粉症に効く漢方薬がございます。抗ヒスタミン薬による眠気などの副作用が辛い方や漢方が体に合っている方などにはお勧めです。ご希望の方は診療時にご相談ください。



Q：大人ですが、花粉症を診てもらえますか？

A：はい、診療しております

アレルギー専門の診療所として、こどもだけではなく、大人の方の花粉症や喘息、アトピーの方の診察、検査、治療も行っております。ご家族で受診することもできます。アレルギー検査や呼吸機能検査等も行うことができますので、ご遠慮なく受付または医師へご相談くださいませ。

Q：ゾレア皮下注射という治療薬は使用できますか？

A：はい、できます。(12歳以上の方が対象です)

2020年より、重症のスギ花粉症の方（12歳以上）に対して、2月～5月に抗IgE抗体オマリズマブ（ゾレア®）を皮下注射する治療が保険適用（医療証・公費適用も含む）となりました。抗ヒスタミン薬内服で1週間以上治療しても症状が強くコントロールが不良な方（例えば1日中鼻水ができる、完全に鼻が詰まっている等）で、血液検査にてスギ花粉がクラス3以上・総IgE濃度30～1500IU/mlの方が対象です。適応年齢は12歳以上で、血液中の総IgE値と体重を元に投与量を計算し、注射間隔は4週間（又は2週間）ごとに、1～4本皮下注射を行います。ゾレアは薬価が高く適正使用が必要な薬で、当院ではその都度発注している薬となりますので、ご希望の方は、アレルギー専門外来にて事前に受診・ご相談をお願いいたします。

※来院当日での注射は受付けておりませんのであらかじめご了承いただけたらと思います。

※適用基準に沿った方が対象となりますので、症状や検査によっては適応外となる場合もあります。

※医療費など詳細に関しましては、ノバルティス社のホームページをご参照お願いいたします。

<https://www.okusuri.novartis.co.jp/xolair/pollinosis>

Q：舌下免疫療法をしたいのですが、できますか？

A：はい、できます。（ただし、5月中旬以降からです）

当院にて、こどもから大人の方まで、多くの方が治療しております。スギ花粉の舌下免疫療法の開始時期は、スギ花粉飛散期を避けるため、スギ花粉の飛散が終了する5月中旬以降から開始ができます。舌下免疫療法（スギとダニ）は、5歳前後～大人の方が保険適用にて治療できます。

舌下免疫療法は、100%効果があるという夢の治療法ではありませんが、7～8割の方で効果があり、スギ花粉症やダニアレルギーの根本的な治療（＝体質改善）が期待できますので、アレルギー症状でお悩みの方にはお勧めの治療法です。ご遠慮なく、アレルギー専門の医師へご相談ください。

適切なアドバイスと治療法のご説明をいたします。

詳しくは、当院HP「[舌下免疫療法のご案内](#)」のバナーをご参照ください。



< 補足説明 >

- より専門的な内容や説明をご希望の方は、アレルギー専門の医師の外来をご利用ください。
- 舌下免疫療法も積極的に行っておりますので、ご遠慮なくご相談ください。
- 他院にてアレルギーに関してご受診されていた方は、過去のアレルギー検査結果や、処方薬（お薬手帳）などがございましたら、ご持参くださいますようお願いいたします。

